

2025年度日系社会研修 コース概要

NO.	2
所管センター	横浜
分野	日本文化
研修コース名（日）	ポップカルチャーを通じた日系社会活性化
受入人数	6
受入時期	上半期
来日日	2025年7月13日（日）
帰国日	2025年8月6日（水）
提案団体（日）	公益財団法人海外日系人協会
提案団体 ウェブサイトアドレス	https://www.jadesas.or.jp/
研修員必要資格	・このコースで習得した内容を日系団体や日系コミュニティの活性化のためのイベントの企画・実施に活かす意欲を持つ者 ・日本のポップカルチャーに関する基礎的知識を有する者 ・地域や日系社会のリーダーとして、ポップカルチャー等日本文化イベント運営に携わった経験のある者
研修員に必要な 実務経験年数	3年以上
日本語能力（選択） ※日本語能力試験認定の目安参照	N4程度以上が望ましい
英語能力（選択）	不問
研修目標	研修員が、ポップカルチャーを通じた日系社会活性化のための活動やイベントを企画・実施できる技術を習得する。
期待される成果 （習得する技術）	1. 日本のポップカルチャーに関する知識を習得する。 2. ポップカルチャーを通じた地域活性化に関する知識を習得する。 3. 日系社会や地域社会において、ポップカルチャーに関するイベントを企画・実施する技術を習得する。
研修計画 （内容）	1. 講義：日本の歴史・文化とポップカルチャー/イベント運営方法/ポップカルチャー論（アニメ・マンガ等） 2. 視察：コンテンツツーリズム（聖地巡礼）関連地域/秋葉原・池袋/ポップカルチャーイベント視察等
本研修実施の意義 中南米日系社会への裨益効果	ポップカルチャーに関する知識の習得を通じ、伝統を保ちつつ新しい文化を創造、受容してきた日本文化への理解を深めるとともに、日系社会でポップカルチャーの関連イベントを企画・実施することのできる人材を育成し、帰国後の活動に活かすことで、若者の日本および日系団体への関心が高まり、日系団体および日系社会並びに地域社会が活性化されることが期待される。 また、日本側の視点からも、海外で日本に対するより一層の理解や信頼を得るため、従来から取り上げている伝統文化・芸術に加え、世界的に若者の間で人気の高いポップカルチャーを文化外交の主要なツールとして活用することが期待されていることから、本研修を実施することの意義は大きいと考える。
応募希望者への特記事項	